

巻頭言



日本教職員バドミントン連盟会長
高橋 英夫

日を追うごとに夏らしくなるこの頃ですが、会員の皆様にはご清祥の事と拝察申し上げます。

2020年よりあしかけ4年にもわたって私たちの正常な日常生活やバドミントン活動を奪った新型コロナ感染騒動も収束に向かいつつあり、やっと日々の活気が戻ってきた感があります。世界や日本国内のバドミントン大会もほぼ現状復帰しております。昨年度は愛媛県松山市において3年ぶりの開催となった全日本教職員バドミントン選手権も、会員の多くの皆様のご参加を賜り、無事成功裡の内に終了することができました。厚く御礼申し上げます。併せて、全日本教育系学生バドミントン選手権大会も同じく3年ぶりに本大会のホームグラウンドともいえる葛飾奥戸総合スポーツセンターでの実施が実現し、喜びに堪えません。もともと本大会の開催趣意は日本教職員バドミントン連盟が、将来我が国のバドミントンの指導者を育成するというメインポリシーを以て2011年に本大会を創設したものです。以来、全国各地より学生諸君の参加が増員し今日のように発展してまいりました。本大会を通して、学生諸君の流す汗の一粒一粒が選手間の心と心の絆を深め、魅力あるバドミントン界を、そして素晴らしい社会を築いてくださることと確信致します。そこに全日本教育系学生バドミントン選手権大会の大義があります。

現在の我が国のバドミントン界は、公益財団法人日本バドミントン協会の抜本的組織改革が進む中、選手諸君の競技力向上には目を見張るものがあります。タイ・バンコクで開催されました世界選手権も女子単優勝の山口茜選手を始めとして大変素晴らしい結果を残してくれました。然し、日本のバドミントン界の発展はこれらナショナルチームの選手だけの活躍によるものではありません。数多くの審判員や医療スタッフを含め、バドミントンを愛する全ての人々の真摯で献身的な努力によってなされていることは言うまでもありません。これからも日本教職員バドミントン連盟は会員が心一つにしてバドミントン界の更なる発展を期して精進してまいりたいと思います。今後とも関係各位に於かれましては本連盟に格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度の全日本教職員バドミントン選手権大会の開催地は、北海道札幌市です。8月末の爽やかな季節、広大で歴史ある美しい街での大会を連盟執行部一同楽しみにしております。会員の皆様方の多くのご参加をお待ち致しております。

末筆ながら訃報が届きましたのでご報告申し上げます。私達の大先輩で本連盟創立功労者のお一人で、現顧問初代理事長の平田登志郎先生が去る4月11日にご逝去されました。先生は影日向なく、いつも私達を励ましてくれました。先生の多大なるご功績を偲びつつ役員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

目 次

巻頭言

追悼 平田登志郎初代理事長

第61回大会 研修会報告

第12回全日本教育系学生バドミントン選手権大会

表紙の人